

七月 津軽川倉・小泊調査

主としてオシラ様調査

青森

八月 美濃・近江の山中を歩く。

岐阜・滋賀

九月 瀬戸内海魚名調査

伊予川之江・三島・小松・波止浜・大三島・豊島・宮窪・弓削島・因島を歩き魚名調査。

一〇月 越後大白川、越前石徹白・大野・疋田調査。大野では鵜飼の調査。

(註 『越前石徹白民俗誌』の「入村記」には第二回入村は昭和一七年秋とあるが、ここでは「生活学会報」第一〇号所収の年譜をとる)

一二月 土佐寺川・大杉・祖谷山調査。大杉で鵜飼調査。

柳田(66歳)

日本民俗学の建設と普及の功により昭和一五年度第一二回朝日文化賞を受賞

洪澤(45歳)

日本農学会より豆州内浦漁民資料に対して農学賞授与される。一二月、第一銀行副頭取就任。

34歳

昭和17

二月 胃潰瘍のため病臥。

六月 帰郷し二ヶ月ほど百姓仕事に専念。

その合間に柱島の地割調査を行なう。

九月 淡路由良のテグス調査

九月二四日 洪澤敬三に同行。

兵庫県加東郡滝野町・中東条村で釣針・人造テグス・ウキ製造調査。大阪西区奥美町のテグス問屋調査。

一〇月七日、一〇日 釣針調査

兵庫県三木・下東条町・米田村・多可郡比延庄村。

柳田(67歳)

『こども風土記』『菅江真澄』『方言覚書』『日本の祭』刊

洪澤(46歳)

日本銀行副総裁就任

この頃アチック・ミュージアムを日本常民文化研究所と改称。農山漁村のみならず市街地を合わせ農工商一般を含むものとして敬三の作出にかかる。

財団法人・日本民族学協会が創立される。

昭和17(一九四二)年

42 日独軍事協定調印

42 食糧管理法公布

42 アメリカ陸軍機、東京を初

空襲

42 ミッドウエー海戦

*「ほしがりません勝つまでは」の流行語

*ガスの時間供給開始

*共同炊事・給食の時代

42 食糧の買出し、闇取引流行

42 防空訓練盛ん

42 乾燥バナナ、乾燥鶏卵、配給食糧に登場

42 「月火水木金」流行

42 蔬菜不足深刻

42 うれしいひな祭り(歌)